

## 令和2年度 第9回 モビリティ・イノベーション連絡会議 議事概要

1 日時：令和3年3月12日（金）10:00～11:00

2 場所：WEB開催

### 3 出席者

構成員 WEB参加：

慶應義塾大学 川嶋名誉教授、東北大学 鈴木教授、日本大学 栗谷川准教授、法政大学 糸久准教授、香川大学 紀伊教授、名古屋大学大学院 倉地特任准教授、立命館大学 塩見准教授、同志社大学 三好教授・佐藤教授、中央大学 中村教授、明治大学 中山教授、理化学研究所 中川チームリーダー・小出研究員、一般財団法人 日本自動車研究所 内田副部長、東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター／東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 須田教授・大口教授・中野教授

対面参加：

東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター／東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 鹿野島准教授・霜野特任助教・内村特任研究員・梅田特任研究員・岩崎特任研究員

オブザーバー 内閣府 古賀氏、荒木氏

事務局 社会システム株式会社（東野氏、金子氏、久銘次氏）

支援

### 4 議事概要

#### （1）須田機構長挨拶

#### （2）前回議事概要の確認

・資料1について説明。

#### （3）研究者データベースについて

・資料2について説明。

##### （主な議事）

- ・これは内閣府から受託している一環で行っている業務でもあり、委託側にとって価値があるものになると同時に、参加者にメリットがあるようにしていく必要がある。とくに産業界で価値を認めて貰えるようにする方策の示唆が欲しい。
- ・試用した感想として、webフォームで入力する形となったのは入力し易くハードルが下がった。
- ・キーワード欄に入力すべき分量、書き方がわからず、登録のハードルになるおそれがある。データベース設計者側から積極的に説明（学会発表時等のキーワードを羅列するなど）をフォームに追記するとよい。入力しやすくなるようバージョンアップを続けてほしい。
- ・テキストマイニング分析では、生データでLDAしたために直接関係ないワードが抽出されて精度が落ちているようである。抽出する単語を名詞や複合名詞などに限るなどの処理をすればよい。
- ・連絡会議構成員が自分の所属されている組織に展開して欲しい。将来に向けた重要なデータベースになる。

#### （4）連絡会議のホームページについて

・資料3-1、3-2について説明。

### **(主な議事)**

- ・説明文の内容は、機関によっては、研究所全体の説明よりチームの説明の方が分かりやすいことがある。
- ・組織単位の構成員がベースとなっている。今後、個人の構成員にもリンクできる仕組みについて検討する。
- ・これまで個人の資格で構成員であったが、新たに大学内でモビリティに関わる研究センターが立ち上がっており、もしこのセンターが組織単位の構成員に応募したい場合の手続きについて確認の発言があった。大学の場合は、モビリティ・イノベーション推進連絡協議会に参加の申請をし、協議会メンバーの合意を得れば組織単位の構成員として登録されることが確認された。
- ・ホームページには組織単位の構成員についてしか説明文を記載しない想定になっているが、日本の文系研究者は組織で活動することは大変稀なことも踏まえて、今後、個人の構成員の情報も掲載できるようにすることを検討する。

### **(5) 国際連携について**

- ・資料4について説明

### **(6) その他**

- ・内閣府より情報共有  
SIP 第2期自動運転中間成果発表、社会受容性シンポジウム、地域自動運転サミット（3/25～26）について

### **(7) 今後の予定**

- ・来年度も年3回の開催とし、検討内容はDB、国際連携、学学連携の情報共有を予定している。
- ・オンラインを活用することで、現地参加が難しい方にもご参加いただけるなど、新しい活動やネットワーキングにつなげる等連絡会議も高みを目指していきたい。

以上